

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 商業販売統計(2011年9月)
～前月比で3ヶ月連続の減少～

発表日2011年10月27日(木)

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 主席エコノミスト 新家 義貴
TEL : 03-5221-4528

(単位: %)

		商業販売額		卸売業		小売業		大型小売店			百貨店		スーパー		コンビニ販売額	
		前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	既存店 前年比	既存店 前年比	既存店 前年比	既存店 前年比	既存店 前年比	既存店 前年比	前年比	既存店 前年比
10	1月	▲ 3.8	6.3	▲ 6.1	7.6	2.3	2.2	▲ 5.1	▲ 5.7	▲ 5.7	▲ 5.7	▲ 5.7	▲ 5.7	▲ 5.7	▲ 2.5	▲ 5.5
	2月	▲ 0.9	▲ 1.4	▲ 2.7	▲ 1.9	4.2	1.3	▲ 3.4	▲ 4.0	▲ 5.3	▲ 3.2	▲ 3.2	▲ 3.2	▲ 3.2	▲ 1.8	▲ 4.9
	3月	2.4	▲ 4.9	1.5	▲ 6.4	4.7	0.0	▲ 4.1	▲ 4.9	▲ 3.6	▲ 5.6	▲ 5.6	▲ 5.6	▲ 5.6	▲ 2.4	▲ 5.1
	4月	3.6	5.6	3.1	7.2	4.9	0.4	▲ 3.0	▲ 3.7	▲ 3.7	▲ 3.6	▲ 3.6	▲ 3.6	▲ 3.6	▲ 1.2	▲ 3.9
	5月	1.3	▲ 2.4	0.7	▲ 2.8	2.9	▲ 1.7	▲ 3.2	▲ 3.9	▲ 2.1	▲ 4.9	▲ 4.9	▲ 4.9	▲ 4.9	▲ 0.8	▲ 3.7
	6月	1.3	▲ 0.9	0.6	▲ 1.2	3.3	0.5	▲ 2.4	▲ 3.1	▲ 5.7	▲ 1.6	▲ 1.6	▲ 1.6	▲ 1.6	1.2	▲ 1.4
	7月	1.0	▲ 0.5	▲ 0.1	▲ 0.5	3.8	0.4	0.9	▲ 1.3	▲ 1.4	▲ 1.2	▲ 1.2	▲ 1.2	▲ 1.2	2.9	0.3
	8月	2.1	▲ 0.6	1.2	▲ 1.3	4.3	1.4	0.9	▲ 1.8	▲ 3.0	▲ 1.3	▲ 1.3	▲ 1.3	▲ 1.3	3.2	0.7
	9月	1.5	▲ 0.6	1.5	0.4	1.4	▲ 2.8	1.1	▲ 1.7	▲ 5.0	0.1	0.1	0.1	0.1	15.1	12.2
	10月	0.3	0.9	0.4	1.6	▲ 0.2	▲ 1.4	3.3	0.4	0.6	0.3	0.3	0.3	0.3	▲ 3.3	▲ 6.0
	11月	5.2	3.7	6.6	4.0	1.5	2.0	2.6	0.1	▲ 0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	3.4	0.7
	12月	3.5	▲ 0.7	5.7	0.2	▲ 2.2	▲ 4.2	0.5	▲ 1.7	▲ 1.5	▲ 1.8	▲ 1.8	▲ 1.8	▲ 1.8	5.4	2.8
11	1月	3.3	4.6	4.6	5.0	0.1	4.0	1.5	▲ 0.7	▲ 1.1	▲ 0.4	▲ 0.4	▲ 0.4	▲ 0.4	7.1	4.5
	2月	5.3	0.5	7.2	0.7	0.1	0.8	3.2	0.5	0.6	0.4	0.4	0.4	0.4	8.5	5.9
	3月	▲ 1.3	▲ 10.2	1.2	▲ 10.7	▲ 8.3	▲ 7.6	▲ 4.5	▲ 7.5	▲ 15.0	▲ 3.0	▲ 3.0	▲ 3.0	▲ 3.0	9.1	7.2
	4月	▲ 2.6	5.1	▲ 1.7	5.1	▲ 4.8	4.1	1.2	▲ 1.9	▲ 1.8	▲ 1.9	▲ 1.9	▲ 1.9	▲ 1.9	3.0	1.0
	5月	1.3	▲ 0.1	2.3	▲ 1.0	▲ 1.3	2.4	0.8	▲ 2.5	▲ 2.6	▲ 2.4	▲ 2.4	▲ 2.4	▲ 2.4	7.3	5.1
	6月	3.1	1.7	3.8	1.3	1.2	2.9	2.5	▲ 0.5	0.1	▲ 0.8	▲ 0.8	▲ 0.8	▲ 0.8	10.9	8.3
	7月	2.3	▲ 0.3	3.0	0.0	0.6	▲ 0.3	1.8	0.8	▲ 0.4	1.5	1.5	1.5	1.5	11.4	8.9
	8月	3.1	▲ 1.6	5.2	▲ 1.5	▲ 2.6	▲ 1.7	▲ 1.8	▲ 2.6	▲ 2.1	▲ 2.9	▲ 2.9	▲ 2.9	▲ 2.9	9.1	6.6
	9月	0.1	▲ 2.6	0.6	▲ 3.1	▲ 1.2	▲ 1.5	▲ 2.5	▲ 3.6	▲ 2.8	▲ 4.0	▲ 4.0	▲ 4.0	▲ 4.0	▲ 1.8	▲ 4.1

(出所) 経済産業省「商業販売統計」

○ 前月比では3ヶ月連続の減少

経済産業省から本日公表された9月の小売業販売額は前年比▲1.2%となり、市場予想(▲0.1%)を下回る弱い結果だった。前月比でも▲1.5%(8月:▲1.7%)と3ヶ月連続の減少であり、減少幅も大きい。小売業販売額は4月以降、①消費者心理の持ち直し、②自動車の供給制約緩和、③地デジ移行前のテレビの駆け込み需要、④節電需要(省エネ家電・クールビズ関連商品販売の増加)、⑤被災地での復旧需要、⑥震災後に消費を抑制した反動、等を背景に急回復していたが、足元では弱含んでいる。駆け込み需要の反動によるテレビ販売の大幅減少、節電特需の剥落、被災地での復旧需要が一巡、などの要因が下押し材料になっている。また、9月は台風等の天候不順により客足が落ち込んだという面もあるとみられる。

○ 業種別の動向

機械器具小売業は前月比▲4.3%(8月:▲23.4%)と3ヶ月連続で減少した。前述の通り、テレビの駆け込み需要の反動が出た形である。テレビ販売は、これまでエコポイント制度や地デジ移行などにより相当程度需要が先食いされているため、先行きも(水準がさらに切り下がるかどうかはともかく)低調な推移が続くとみられる。

百貨店等が含まれる各種商品小売業は前月比▲0.9%(8月:▲1.3%)、織物・衣服・身の回り品が同▲3.3%(8月:▲0.9%)と、ともに2ヶ月連続で減少した。クールビズ関連商品などの特需剥落が下押し要因となったほか、台風等の天候不順が響いた模様だ。そのほか、飲食料品小売業も前月比▲2.2%(8月:▲1.9%)と比較的大きな落ち込みとなった。こうしたなか唯一気を吐いたのが自動車小売業で、前月比+

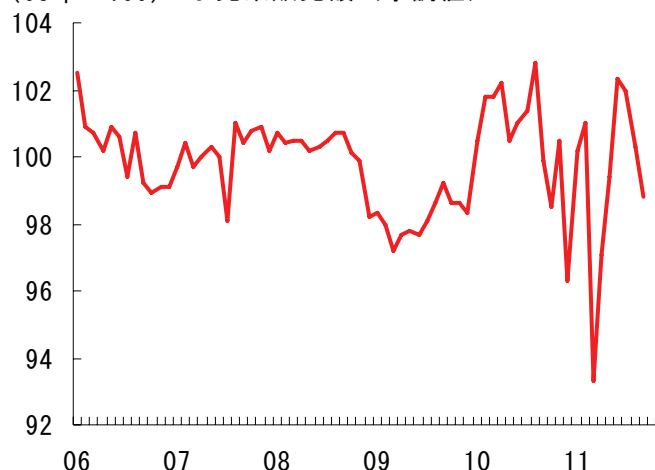
3.9%（8月：+6.6%）と増加が続いた。供給制約の解消が続くなか、震災後に販売が激減したペンタアップデマンドが生じているとみられる。

なお、東北地方の大型小売店販売は前年比+0.7%と5ヶ月連続で増加しており、全国平均（同▲2.5%）と比べて高い伸びとなっている。震災直後の3月には同▲22.5%と激減していたが、その後は復旧需要を背景に回復している。もっとも、伸び率は7月の同+5.8%をピークとして足元で鈍化しており、復旧需要が一巡しつつあることが示唆される。

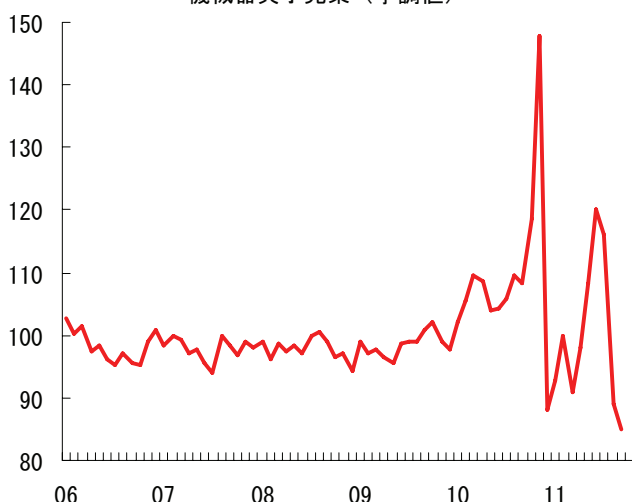
○ 先行きも期待薄

このように、テレビの駆け込み需要の反動、節電特需の剥落、天候不順などを背景として小売業販売は足元で弱含んでいる。先行きについても大きな期待はできないだろう。消費を取り巻く環境をみても、雇用・賃金の回復が極めて限定的なものにとどまることが予想されることに加え、景気の先行き不透明感の強まりから、消費者マインドも今後は改善ペースが鈍化する可能性が高い。また、前述の通り、テレビ販売は低調な推移が続くと見込まれるほか、好調が持続している自動車販売についても、今後は次第に伸びが鈍化していくとみられる。個人消費は、先行き低調に推移する可能性が高いだろう。7-9月期の個人消費についてはゲタの関係により増加が見込まれる（7-9月平均の小売業販売額は前期比+0.8%ポイント上回る）が、10-12月期には前期比減少に転じる可能性もあると見ている。

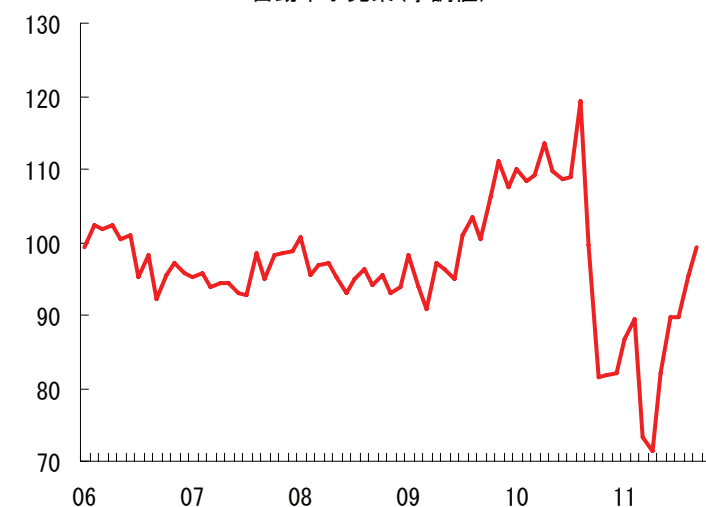
(05年=100) 小売業販売額（季調値）



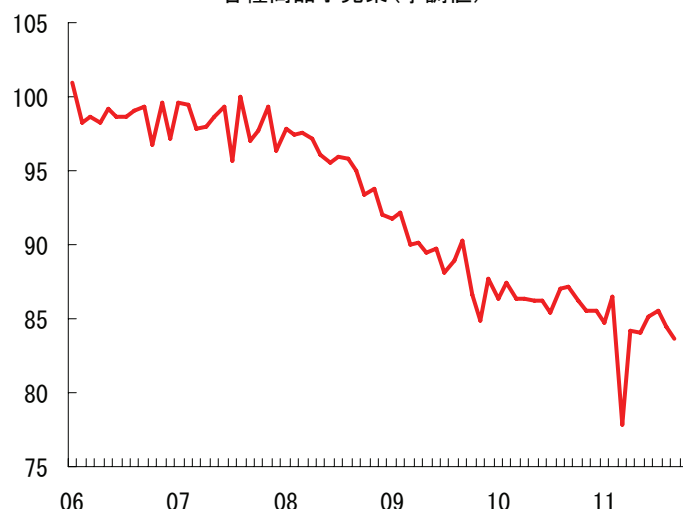
(05年=100) 機械器具小売業（季調値）



(05年=100) 自動車小売業（季調値）



(05年=100) 各種商品小売業（季調値）



（出所）経済産業省「商業販売統計」